

普段も、非常時も いつでも使える防災マット



マト マット
MATOMAT

普段は学校のイスの
クッションとして使用

収納スペース不要！

非常時は複数組み合わせて
防災マットとして活用

ワンタッチで
接続・分解が簡単

350mm

特徴



断熱性

ウレタン素材で断熱性◎
椅子や床に体温を奪われません



耐久性

長期使用を考えた耐久性
座り心地や寝心地も◎



特許取得

独自の着脱方法で利便性◎
組み合わせを変えて大きさを調整できます



取り付け

紐を取り付けて
固定することができます

※別途オプション料金が必要となります

環境に配慮したリサイクル素材使用

廃却品

中のクッションの一部として
再利用されています

粉碎

バラバラに

導入実績

- 自治体
 - ・大垣市（岐阜県） ・大野町（岐阜県）
 - ・栗原市（宮城県） その他多数
- 自治会
 - ・徳万自治会 ・般若自治振興会
- 寄贈（令和6年能登半島地震の復興支援）
 - ・石川県内の4自治体
- 企業
 - ・中部国際空港

製品スペック

■寸法（接続部 閉状態）	幅 350mm×奥行 350mm×厚み 30mm
■寸法（接続部 開状態）	幅 490mm×奥行 490mm×厚み 30mm
■カバー材	ポリエステル ※裏面 PVC コーティング
■内カバー材	ポリエステル
■クッション材	ウレタンフォーム
■重さ	約 480g
■納入単位	1箱（14枚入り）

お問い合わせ



太平洋工業株式会社

〒503-0945 岐阜県大垣市浅西4丁目1番地1

新規事業推進部・事業戦略グループ

☎ 0584-51-1405 ✉ matomat@pacific-ind.co.jp

詳しくはWebをチェック！



大垣市の小学校での活用の様子



導入担当者の声
岐阜県大垣市役所 危機管理室様



「学校から家庭へ防災意識広がる商品」

■ 導入の経緯

避難所環境を改善するために、マットレス等の必要性は強く感じていたが、備蓄場所が課題となっていた。しかし、平常時は学校の椅子のクッションとして使用することで、備蓄場所を確保する必要がなくなり、課題が解消された。

■ 防災用品としての価値

MATOMAT の導入を契機として、友達や家族と、災害時はどこへ避難するのか、避難所生活ではどんなものが必要かなど、防災についての話し合いのきっかけになればと思う。

■ MATOMAT への期待

学校の授業の一環で、廃材のリサイクルでこのような製品ができるということや、持続可能な社会と地域の産業がどのように関連しているのかを考えるきっかけになると思う。本来であれば廃材として処分されるものが、新たに価値のある製品として生まれ変わること、SDGs の観点にとどまらず、新たな産業の創出につながる良い製品だと思う。



ジチタイワークス Vol.33
(2024 年 8 月 16 日発行) に
より詳しいインタビュー内容が掲載！



MATOMAT× 大垣市長 「首長マガジン」で紹介



石田大垣市長に製品開発
ストーリーをインタビュー

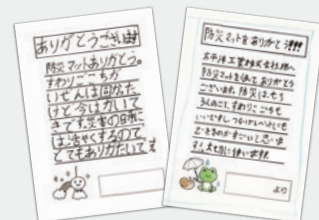
詳しくは Web を
チェック→



能登半島地震の被災地へ支援 石川県の小中学校に、約 6,000 枚を寄贈

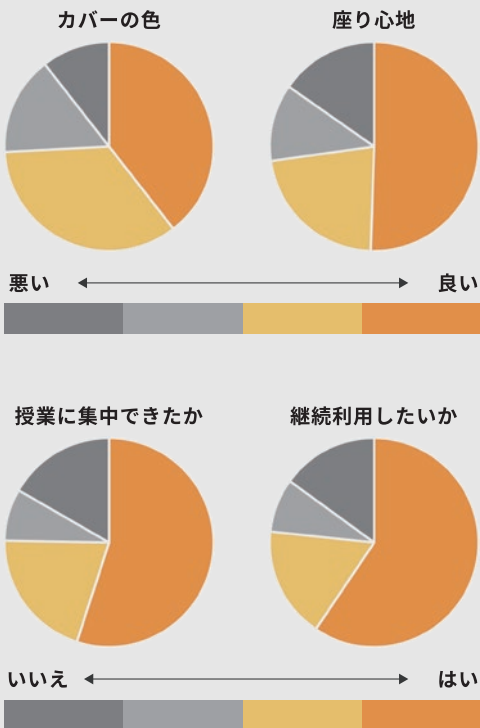


小学校でマットを組み立てる様子



寄贈先の児童からのお礼の手紙

アンケート結果



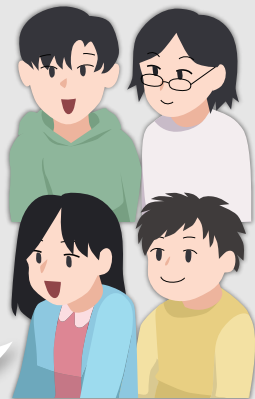
7 割以上の児童・先生が
継続利用を希望

※アンケートはすべて実証実験の結果

色や座り心地・使いやすさも好評！

児童の声

- ・女子でも男子でも使える色で、汚れてもあまり気にならなかった。
- ・水をはじくので汚れが付きにくく、さらさらした生地なので、さわり心地がいい。
- ・冷たい椅子が温くなって、長い間座っていてもお尻が痛くならない。
- ・フアフアして座り心地がいいので、授業に集中できる。
- ・持ち運びができるので、体育館での使用に役立った。冬でも冷たくなかった。
- ・授業や訓練でマットをつなげてみたが、自分達で簡単につなげることができた。



授業・地域活動での活躍も！

先生の声

- ・社会科の災害の話で話題にあげたり、長時間体育館で座るときに使用することができて良かった。
- ・地域の防災避難訓練の際に、段ボールベッド等と組み合わせて使用。子どもたちでもマットにできるわかりやすさがとても良い発想だと思った。

